

(第六類第一號) 第六十四回 帝國議院 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案外二件委員會議錄(速記)第十回

(一四四)

付託議案

第六十四回 帝國議院 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出) 大阪帝國大學工學部設置ノ付帝國大學特別會計一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) (政府提出)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政府提出) 檀太事業公債法中改正法律案(政府提出) 大阪帝國大學工學部設置ノ付帝國大學特別會計一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) (昭和七年法律案(政府提出)) (政府提出)

會議

昭和八年二月二十日(月曜日)午前十一時開

議

出席委員左ノ如シ

委員長 金光 康夫君

理事鷺野米太郎君 理事池田 敬八君

理事矢野庄太郎君 理事中川 兼田 秀雄君

鈴木 英雄君 武田德三郎君

豊田 收君 沖島 錢三君

鵜澤 宇八君 小山 谷藏君

同日委員木暮武太夫君理事辭任ニ付其ノ補

闕トシテ豊田收君理事ニ當選セリ 同月十八日昭和七年法律第六號中改正法律案(昭和七年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官 潤 正雄君

外務書記官 松宮 順君

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏參與官 上塙 司君

大藏省主計局長 藤井 真信君

大藏銀行局長 大久保慎次君

大藏書記官 賀屋 興宣君

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務參與官 木村小左衛門君

拓務書記官 杉田 芳郎君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

樺太廳長官 今村 武志君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)

要ヲ御説明申上ゲマス、昭和七年度ノ一般會計ニ於ケル歲入不足ヲ補填致シマス爲

外途ガナイト考ヘマシタノデ、只今ノ法律

ニ規定サレテ居リマス三億一千二百六十萬圓ニ、二千八百三十萬圓ヲ加ヘマシテ、法

昭和八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル

法律案(政府提出)

○金光委員長　御質問ハゴザイマセヌカ一
趣旨デアリマス
——森田君
○森田委員　一寸今ノ御話デスガ、二千何
百萬圓ヲ振向ケル、支出ノ方ノ詳細ガ分リ
マセヌカ
○藤井政府委員　別途提案致シテ居リマス
ル昭和七年度追加第二號デ、ソレハ御審議
ヲ願フヤウニナッテ居リマスガ、極ク大要ヲ
申上ゲマスト——數省ニ跨^ツテ居リマスガ、
此追加第二號ノ中デ、最モ重要ナ部分ヲ占
メテ居リマスノハ、貨幣交換差金デアリマシ
テ、貨幣交換差金ガ二千二百四十四萬圓餘ニ
ナッテ居リマス、其他外務省所管ニ於キマシ
テ、國際會議參列費ノ不足ノ分、約五十餘萬
圓、内務省所管ニ於キマシテ、警察費連帶支
辨金ノ増加ヲ要シマスモノ二百八萬餘圓、
商工省所管ニ於キマシテ、製鐵業獎勵金ノ
不足百三十餘萬圓、内務、農林、文部等ニ亘
リマシテ、北海道ニ於ケル水害凶作等ノ救
濟應急施設ノ經費ガ、内務省ニ於テ約三十
餘萬圓、農林省ニ於テ二十九萬餘圓、文部
省ニ於テ七萬餘圓ニナッテ居リマス、尙ホ其他陸
軍省所管ニ於キマシテ、傷痍軍人ノ扶助費

ノ不足ヲ償ヒマスモノ、約九十九萬圓、以
申上ゲルヤウナモノガ主ナルモノデアリマ
シテ、合計致シマシテ二千八百六十二萬餘
圓トナッテ居ルノデアリマス、追加豫算ノ總
計ハ斯様ニナッテ居リマス、其内デ司法省所
管ニ刑務所ノ收容費トシテ、二十五萬圓ノ
追加豫算ヲ計上シテ居ルノデアリマスガ、
是ハ御承知ノ如ク刑務所ニ於ケル歲出ニ伴
ヒマシテ、一面ニ收入ニ充ツベキモノガア
リマスノデ、其二十五萬圓ヲ歲入ノ方ニ計
上致シマシタ、之ヲ差引キマシタ殘額二千
八百三十餘萬圓ヲ、公債ニ依ツテ支辨致サ
ウ、斯様ナ計畫ニナッテ居リマス

上已ムヲ得又モノカ知リマセヌガ、今日行
政ノ機構ヲ整理セヨト云フヤウナ議論ハ、
斯ウ云フ所カラ起ルヤウニ思フノデアリマ
ス、餘リニ支出ノ項目ヲ茲ベテ見テ財源ガ
ナイ、補助デモ何デモ公債デ借ッ放スト云フ
ヤウナ形ハ、如何ニモ大藏省當局トシテハ
遣リ方ガ拙イ、ソレデ財政ガ二千萬、三千
萬ト小財政デアルナラバ、已ムヲ得ヌカモ
知レマセヌケレドモ、市役所ノ財政トハ違
フ、國家ノ財政デアル、國家ノ財政デアル
ナラバ、モウ少シ考ヲ立テ、サウシテ補
助金ノヤウナモノハ、或ハ一般ノ會計カラ
出ス、ソレヲ公債金ヲ募ルト云フ、何デモ
彼デモ公債ヲ募ル、金ガ足ラナケレバ公債
デヤル、ソレハ昭和十年ニナレバ必ズ財政
ハ確立サレルモノデアルト云フ遣方ハ、實
ニ國民ヲ愚ニシタ遣方デアル、非常重大ノ
時局ト云フコトニロヲ藉リテ、何デモ宜イ
カラ、ドウシテモ足ラナケレバ、公債デス
ルト云フヤウナ遣方ハ、技術上カラ見テモ
不親切ナ遣方デハナイカ、モウ少シ公債ヲ
發行スルト云フ時ニハ、公債ヲ發行スル建
前ト云フモノガアル、其建前ニ依ッテ是ハ
公債デヤラウ、是ハ豫備費ノヤウナモノデ
ヤラウトカ、八萬ヤ五萬ノ金ヲ出シテ來テ、
サウシテ是ガ足ラヌ、直ニ之ヲ公債ニ依ッ

テ交辨スル、斯ウ云フヤウナ遣方ハ、如何ニモ是ハ大藏省トシテハドウ云フモノカ、政府當局——當局モ大體大藏省デアルガ、不親切ノ遣方デアル、モウ少シ斯ウ云フモノカ、ノハ秩序ヲ立ツテ——最近或人ガ言フニハ、ドウモ日本ノ財政經濟ノ、殊ニ豫算ナドヲ見ルト、何ガ何ダカ分ラナイ、殆ド暗闇ノ中ヲ歩イテ居ルヤウデ、薩張リ分ラナイ、是ハ總デガ斯ウ云フヤウニ、態分ラヌヤウニスルノガ目的デハナカラウ、モウ少シ一目瞭然ニ分ルヤウニスルト云フコトガ、必要デアラウト思ヒマスガ、成程二十二億ノ歳入歳出ト言フケレドモ、段々調べテ見レバ特別會計ガ無數ニアルカラ、之ヲ三十億ノ會計トモ言ヒ、四十億ノ會計トモ言ヒ、五十億ノ會計トモ言フ、之ヲ何億ノ會計デアルト云フコトハ、大藏省當局ト雖モ明言スルコトガ出來ヌ、ソレガ或モノニ於テハ二重、三重ニ込入ツテ居ルモノガアル、今回斯ウ云フモノヲマタオ出シニナッテ、公債ヲ發行スル、サウシテ其公債ノ中味ハ何カト言ヘバ補助金デアル、學校ニ三萬圓ヲ補助スル、斯ウ云フコトハモウ少シ昭和八年度ノ豫算ノ中ニ入レルトカ、或ハモウ少シ七年度ノ追加豫算ノモノヲ纏メテ出ストカ、秩序ヲ立ツテ、技術的ニ納得スルヤウニ出ス

コトハ出來ナイカ、已ムヲ得ズ斯ウ云フ一
日暮ノ計畫デオヤリニナルノデアルカ、今
後將來ノコトモアルカラ一應聽イテ見タイ
ト思ヒマス

○藤井政府委員

一般的ノ御議論トシマシ
テ、補助金ノ如キ經費ヲ、公債ヲ以テ支辨
スルコトハ適當デナイヂヤナイカ、何カ其
間ニ條目ヲ立テ、計畫ヲ致シタ方ガ、宜イ
デヤナイカト云フ御議論ノヤウデアリマス
ガ、御趣旨ハ全ク私共モ御尤ノコト、存ジ
テ居リマス、出來得ル限リ補助費ノ如キモ
ノハ、公債ヲ以テ支辨スルコトヲ避ケタ方
ガ宜イノミナラズ、假ニ已ムヲ得ズ補助金
ヲ出スニ致シマシテモ、其補助ノ效果ガ眞
ニ適切有效デアッテ、今日ノ時局ニ當リマシ
テ、ドウシテモ缺クコトノ出來ナイモノデ
アリ、且ツソレガ本當ニ役ニ立ツ經費デアル
ト云フコトヲ認メナケレバ、歲出トシテ御
協贊ヲ仰グニ適當デナイ、斯様ニ考ヘマシ
テ、大藏省ト致シマシテハ、只今御說ノヤ
ウナ御趣旨ニ依リマシテ、出來得ル限リノ
モ今日ノ財政狀態ニ於キマシテ、已ムヲ得
ズ歲入ノ不足ヲ、公債デ補填スルト云フコ
トニナッテ居ルノデアリマスカラ、茲ニ七年
度ノ追加豫算ニ付キマシテモ、亦公債ヲ以

テ補填シナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ

ナッタノデアリマス、而シテ茲ニ御審議ヲ

願ッテ居リマス、法律案ノ中ニアリマス、只

今私ノ申シ上ゲマシタ補助金ト云フモノ

ガ、特ニ才耳ニ觸ッタヤウデアリマスガ、主

トシテ是ハ政府ノ義務ニ屬スルモノガ多イ

ノデアリマシテ、例ヘバ製鐵業獎勵費ノ如

キモ、製鐵業獎勵法ノ規定ニ依リマシテ、

鐵ノ產額ガ多クナリマスレバ、今日ノ場合

之ニ對シテ、政府トシテハ獎勵費ヲ出サナ

ケレバナラヌ狀態ニアルノデアリマス、警

察費連帶支辨金ハ、是ハ補助費ト申スコト

ハ適當デナイカモ知レマセヌガ、府縣ニ於

ケル警察費ノ所用額ニ對シテ、勅令ノ規定

ニ依ツテ、國庫ノ一般會計ノ分擔致シマス率

ガ定ツテ居リマスノデ、隨テ警察費ノ所用額

ガ多クナリマスレバ、國トシテハ義務トシ

歲出ヲ出サネバナラヌト云フ狀態ニナッテ

居ルノデアリマス、陸軍ニ於ケル傷痍軍人

ノ扶助費モ、只今ノ所勅令デ以テ是ガ決ツ

テ居リマスノデ、政府ト致シマシテハ、義

務上出サネバナラヌ狀態ニ置カレテ居ルト

思ッテ宜シノデアリマス、唯北海道ニ於ケ

ル凶作竝ニ水害ニ對スル補助費ハ、是ハ政

水害、凶作ノ實情ハ、私ノ申上ゲル迄モナ

ク、御承知ノ通リノ狀態デアリマシテ、政

府ト致シマシテハ、出來得ル限リ之ヲ金額

ヲ少クシテ、有效ニ助ケタイト云フ趣旨ヲ

以テ、關係各省ト十分ニ交渉ヲ遂ゲマシタ

結果、是ダケノモノハ已ムヲ得ズ認メナケ

レバナラヌト云フ結論ニ達シタノデアリマ

ス、デ只今申上ゲマシタ此追加第二號ノ中

ニ入ツテ居リマス、補助費ト申シマスモノ

ハ、大部分ハ政府ノ義務ニ屬スルモノデア

リマシテ、全ク已ムヲ得ナイ結果デアルト

御承知ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○高見委員 一寸承ツテ置キマスガ、昭和七

年度ノ追加豫算ト云フモノ、ソレハ特第二

號デアリマスルガ、其外ニ昭和七年度ノ追

加豫算ト云フモノガ、大分出テ居ルデセウ

カ

○藤井政府委員 昭和七年度ノ豫算ハ成立

ニナッタノデアリマスガ、六十二議會ニ於テ

大體ノ見込ヲ立テマシテ、追加豫算ヲ必要

トルモノハ、追加豫算トシテ御要求ヲ致

シマシテ、只今ノ計畫ガ出來テ居ルノデア

リマス、六十二議會當時ニ於テ、若シ是等

ノ經費ニ付テ見込ガ立ツテ居リマスレバ、或

是ダケデ昭和七年度ノ追加豫算ハ、全部終

了スル譯デアリマスカ

○藤井政府委員 左様ニ考ヘテ居リマス

ソコデ只今言ハレタ所ノ、是

等ノ追加豫算ト云フヤウナモノ、中デ、數

項目言ハレタモノガ、モット先キニ、昭和八

年度ノ豫算ニ繰越シテモ宜シ、又モット先

キニサウ云フモノガ想像出來ナカッタノデ

スカ、是ハ公債ヲ發行セネバナラヌト云フ

程ノ、特殊ナ事情ガアッテオヤリニナッタ譯

デスガ、モット事前ニ是ガ御分リニナラナ

カッタノデスカ

○高見委員 一寸承ツテ置キマスガ、昭和七

年度ノ追加豫算ト云フモノ、ソレハ特第二

號デアリマスルガ、其外ニ昭和七年度ノ追

加豫算ト云フモノガ、大分出テ居ルデセウ

カ

○藤井政府委員 昭和七年度ノ豫算ハ成立

ニナッタノデアリマスガ、六十二議會ニ於テ

大體ノ見込ヲ立テマシテ、追加豫算ヲ必要

トルモノハ、追加豫算トシテ御要求ヲ致

シマシテ、只今ノ計畫ガ出來テ居ルノデア

リマス、六十二議會當時ニ於テ、若シ是等

ノ經費ニ付テ見込ガ立ツテ居リマスレバ、或

ゲル、已ムヲ得ズ追加豫算トシテ、御要求セザルヲ得ナイ立場ニ至ッタノデ、茲ニ御協贊ヲ仰グ次第デアリマス

○森田委員 一寸御尋

二千八百萬圓ノ中デ、一番多イノハ貨幣交換差金一千二百四十萬圓デ、私ハ變ナコトヲ即等スレヤウダアリマスガ、今カラ假ニ

議會ヲ通過シテカラト云フコトニナルト、

三月一箇月分ノヤウニ思フノデアリマス、
三月一箇月ニ是ダケノ多額ノ貨幣ノ差損金
ヲ取ッテ、何處デドウ云フ爲替ヲ組マレルカ
ト云フコト、ソレカラ其差損金ノ支拂ハ、
ドウ云フ時ニ御拂ニナルカ、要スルニ信用
狀トカ、爲替ヲ組ムトカ、若クハ信用狀ヲ
作ル時ニ此差損金ヲ御拂ニナルノカ、何時

○藤井政府委員 御拂ニナルカト云フコトヲ御伺致シマス
貨幣交換差金ノ中ニハ、

大キク分ケマシテ、國債ノ元利拂ニ要シマ
スモノト、然ラザルモノトニ分ケテ御考願ツ
タ方ガ宜イト思ヒマス、貨幣交換、國債ノ

元利拂ニ關シマスモノニ付キマシテハ、御承知ノ如ク日本銀行財務官ニ於キマシテ手續ヲ經マシテ、從來ノ取扱振リニ依リマスレバ、大體年度末ニ於テ貨幣交換差金ヲ計算シテ、之ヲ歳出ニ立テルコトニナッテ居ルノデアリマス、七年度ニ於テ元利拂ノ爲

ニ要スル資金ニ付キマシテハ、大體今日マ
デ手當ガ出來テ居リマスノデ、只今ノ所、
殆ド正確ナル計算ガ出來ルノデアリマス、
ソレデ此計算ヲ致シマシテ、不足額ヲ追加
豫算トシテ御要求ヲ致シテ居ルト云フ狀態
テハ、各省ニ於キマシテ、外貨ニ關スル支
拂ヲ必要トスル場合ニ於キマシテハ、取扱
手續ニ依リマシテ、之ニ關スル小切手ヲ切
リマシテ、日本銀行ニ於テ之ヲ外國ニ支拂
ヲ致シマシタ場合ニ、貨幣交換差金ヲ要ス
ルコトニナリマスレバ、其差金ヲ大藏省ニ
對シテ要求シテ參ルノデアリマス、大藏省
ニ於テ其内容ヲ調査致シマシテ、計算ノ適
正ナルコトヲ認メマシタナラバ、調査ノ付
クニ從ツテ、順次貨幣交換差金ヲ支拂ツテ參
テ居ルノデアリマス、八年度カラハ斯ノ如
キ特別會計ノ分ニ付キマシテハ、大藏大臣
ヨリ御説明申上ゲテ居リマス通り、各特別
會計ヲシテ、ソレドモ貨幣交換差金ヲ負擔
セシメルコトニ致シテ居ルノデアリマス
ガ、茲ニ問題トナッテ居リマス昭和七年度
分ニ付キマシテハ、全部大藏省所管ノ諸拂
戻及補填金ト云フ款項目ノ中デ、貨幣交換
差金ヲ支拂ツテ居ル狀態ニアリマスノデ、全
部大藏省ガ取纏メテ、調査致シテ居ルノ

デアリマス、今日ノ所既ニ年度末ニ近付イ
テ參ッタノデアリマス、御承知ノ如ク曩ニ慥力
六十二議會デアッタト思ヒマスガ、貨幣交
換差金ノ見込ヲ立テマシテ、只今ノ所二千
六百萬圓ノ豫算ヲ有ッテ居ルノデアリマス
ガ、其後爲替相場ノ變動ニ基キマシテ、今
日ニ於テ計算ヲ致シマシタ所デハ、尙ホ茲
ニ御要求致シテ居ルダケノ不足ヲ告ゲテ
參ッタ、モット正確ニ申シマスナラバ、今茲
ニ追加第二號トシテ御要求致シテ居リマス
モノガ、一千二百四十萬餘圓デアルノデア
リマスガ、貨幣交換差金ハ、尙ホ其外ニ二
百五十萬圓バカリ尙ホ多ク必要トスルノデ
アリマスガ、是ハ諸拂戻及補填金ノ中ニ於
テ、他ノ費目ノモノヲ流用致シマシテ、出
來ルダケ少クスルコトニ取計ヒマシタ結果
果、已ムヲ得ズドウシテモ追加豫算ヲ要ス
ルモノガ、一千二百四十萬餘圓トナッテ居
ル次第デアリマス

ヲ切ッタトカ、此處デ交換差損額ヲ定メル譯
デアリマスガ、詰リサウスルト小切手ナラ
小切手デ拂ッテ、即チ豫メ概算拂ノ小切手ヲ
送ッテ、爲替ノ差損金ヲ負擔スル、サウンテ
送金ヲ受ケタ所デハ、ソレデ物ヲ調ヘ剩餘
信用狀ヲ外國ヘ持ッテ廻ル官吏ニシテモ、ヨシ
チラデ貨幣交換差金トシテ餘分ニ貰ッテ行
クカラ、餘ッタ金ヲ以テ日本ノ圓ニ交換シタ時
時ノ差益金、或ハ先方ニテ概算拂シタ時
ノ差損マデモ送ッテ、向フデ清算シテコチラ
ヘ送リ返シテ、餘ル差益ト云フモノハ、是
ハドウ云フ風ニ清算ヲスルノデアリマス
カ

○森田委員 一寸今ノハ私ノ間ヒ方ガ悪
カツタノデスガ、サウ云フ意味デハナイノデ
アリマス、假ニ外國ノ大公使館ヤ、或ハ軍
部ノ出先キ出張員トカ、鐵道省等デモ澤山
行ッテ居ラレルデセウガ、外國デ物ヲ買フ爲
ニ概算ノ送金ヲシテ、サウシテ其餘タ金ヲ
日本ヘ送リ返シテ來ルト、必ズ差益金ヲ生
ズル、是ハ爲替ノ低落ニ依ルバカリヂヤナ
イ、假ニ今度送ル時ニハ二十弗ト見テモ、
戻ツテ來レバ其二十弗デ百圓取レルコトニ
ナルノデアリマスカラ、此方ニ戻ツタ時ハド
ウ云フ風デアルカ、詰リ行ク時ハ百圓デ二
十弗、其時ハ多額ノ差損金ヲ計上シテ、貨
幣交換差金ノ損失ヲ組マナケレバナラヌ、
向フデ買ツタ時餘ツタ金ヲ日本ニ送リ返シテ
來ル時ハ、差益金ノアルコトハ明デアル、
其點ヲ御尋シタ、モウ一つハ旅費等ヲ信用
狀デ概算ノ金ヲ貰ッテ行ッテ、ソレヲ使ヒ餘
シタ時ニハ、例ヘバ五千圓ナラ五千圓ト云
フ、旅費ヲ貰ッテ行ツタモノニ對シテ、幾ラ
カノ差損金ヲ加ヘテ貰ッテ、サウシテ使ヒ餘
シテ當然貰フベキモノヲ貰フノハ宜シイ
ガ、其差損マデモ自分ノ所得ニスペキモノ
デハナイ、政府ニ返上スペキモノデアルト
考ヘル、サウ云フ取扱ハドウ云フ風ニナッテ

○藤井政府委員 前段ノ點ニ付キマシテ
ハ、御意見ノ通リデアリマシテ、貨幣交換
差益ガ出ル場合ガアリマス、其場合ニハ先
刻申上ゲマスヤウナ科目デ、之ヲ歳入ニ入
レテ居リマスガ、旅費ノ分ニ付キマシテハ、
實ハ私ハ細カイ手續ノ分ラヌ點ガアリマス
ガ、大體ニ於キマシテハ、旅費ハ日本貨デ
支給ヲ致シテ居ル譯デアリマス、貨幣交換
差益ヲ生ズル場合ガナイデヤナカラウカト
思ヒマスガ、尙ほ詳シイコトハ、細カイ手
續ニ付テハ私ハ分リマセヌカラ、他ノ政府
委員ニ説明ヲシテ貰ヒマス

ニ、日本貨デ返セバ宜シイ、日本貨デ豫メ
増額シテ渡シテ、サウシテ爲替ニ依ル差損
金ト云フモノハ、旅行者自身ノ負擔ニナル、
是ガ現實ノ建前デアリマス

○金光委員長 現ニ議題ニ供シテアリマス
モノ、外ニ、昭和八年度一般會計歳出ノ財
源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案並朝
鮮事業公債法中改正法律案、樺太事業公債
法中改正法律案ヲ一括シテ議題ニ供シマシ
テ、永井拓務大臣ニ對スル質問ヲ許シマス
——沖島君

○沖島委員 植民地ノ行政ノ統一刷新ヲ圖
ル爲ニハ、到底以前ノヤウニ内閣ニ屬スル
一事務局位デハ足リナイ、獨立ノ一省ヲ設
ケテ、之ニ當ラナケレバナラヌト云フコト
ハ多年ノ輿論デアル、ソレガ爲ニ田中内閣
ノ時ニ現在ノ拓務省ヲ設置サレマシタ、然
ルニ一昨年若槻内閣ノ行政整理ニ際シマシ
テ、此拓務省ヲ廢止サレルコトニ決定シタ、然
若シ一昨年十二月ノ政變ガナケレバ、拓務
省ハ廢止サレタノデアル、所ガ此政變ノ爲
ニ拓務省ハ存置サレルコトニナリマシタ
ガ、民政黨内閣ノ政策ニ依ッテ、漸ク存置復活
サレテ居ル拓務省デアリマス、民政黨出身
ノ永井サンガ國務大臣ニナラレルコトハ、

私ハ不都合ト云フ風ニハ申上ゲマセヌガ、
一寸板ニ付カヌヤウナ感ガスルノデアリマ
ス、又拓務大臣トシテモ十分ニ力ガ入ラヌ
ヤウナ點ガアリハセヌカト云フヤウナコト
ヲ、聊カ懸念スルノデアリマスガ、ソレヲ
テ置キタイコトハ、永井拓相ハ現在拓務省
ニ御出ニナリマシテ、拓務省ハ植民地統治
上必要アリト信ジテ御出ニナリマスカ、換
言スレバ、一昨年民政黨ノ拓務省廢止ノ處置
ハ、當ヲ得テ居ルト御考ヘニナルカドウカ、
之ヲ御尋スル、再ビ民政黨内閣ガ實現スル
場合ニ於テハ、拓務省ハ廢止サレルグラウ
ト云フ不安ヲ以テ、優秀ナル官吏ハ拓務省
ニ奉職スルノヲ避ケル、現在拓務省ニ居ル
人デモ、機會ガアレバ他ニ轉ジヤウト云フ
ヤウナ希望ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、私ハ
聞クノデアリマス、若シソレガ事實デアリ
マスレバ、植民地ノ統治上是ハ山々シキ一
大事デアルト思ヒマス、デアリマスカラ永
井拓相ノ意思ヲ聽イテ、他日サウ云フ場合
ニ、如何ナル態度ヲ執ラレルカト云フコト
ヲ、承ツテ置キタイト思ヒマス

シテ、甚シイ時ニハ廢止セレタコトガゴザ

イマス、又將ニ廢止セントシタコトモアッタ

コトハ、御話ノ通リデアリマスガ、私ハ拓

務省ハ日本ノ海外政策ノ爲ニ、經濟政策ノ

爲ニ、是非共存置シナケレバナラヌト云フ

コトヲ、多年ノ主張トシテ居リマシテ、民

政黨ニ於キマシテモ、之ヲ廢止シタ方ガ、

行政整理ノ大局カラ利益ガアルト云フ議論

ノアリマシタ時ニモ、拓務省ハ存置シナケ

レバナラナイ、ソレハ今日日本ガ外地ヲ統

治スルダケデナク、日本ガ海外ニ世界政策

ヲ行フ上カラモ、中権機關トシテ無クテハ

ナラヌト云フコトヲ主張シマシテ、私ハ微

力デアリマシタガ、矢張黨内ニモ其同志ガ

隨分澤山アツタノデアリマス、ソレ等ノ人々

ト其存置ニ努力シタヤウナ次第デアリマシ

テ、殊ニ今日ハ滿洲ニ對スル經營ガ、日本

ノ經濟的存立ト不可分ノ狀態ノ關係ヲ有ツ

テ來タコトヲ、國民ハ既ニ自覺シテ居ルト

思ヒマス、サウ云フヤウナ見地カラ考ヘマ

タト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○沖島委員 私ハ拓務大臣ノ御答辯デ、非

常ニ満足シテ居ル者デアリマス、今日ノ拓

務大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、植民地關係

者並ニ拓務省關係ノ官吏諸君ハ、大ニ安心

シテ力ヲ入レマシテ、今後植民地ノ開拓ニ

努力スルコト、思ヒマス

續イテ御尋シテ置キタイト思ヒマスルコ

トハ、先般豫算總會ニ於キマシテ、同僚ノ

喜多君ガ拓務省ハ無力無能デアルト云フコ

トヲ喝破致シマシタガ、是ハ獨リ喜多君ノ

ミノ見解デハナイ、最近此植民地ノ在住者

並ニ植民地關係者ニ於キマシテ、此拓務省

ノ無力ト云フコトニ付テ、盛ニ非難怨嗟ノ

聲ヲ聞クノデアリマス、拓務省ハ設置サレ

テマダ日ガ淺イノデアリマスカラ、左様ニ

大キナ治績ヲ學ゲルコトノ出來ナイノハ、

是ハ當然デアリマス、又此拓務省ニ對スル

モトハセレト云フコトハ、是亦當ヲ得テ居ル

非難ノ全部ヲ、現在ノ永井拓務大臣ニ責ヲ

負ハセレト云フコトハ、是亦當ヲ得テ居ル

モトハ思ハナイケレドモ、最近ノ此非難

ノ事ニ付キマシテハ、特ニ永井拓務大臣ハ

相當ノ關心ヲ御持チニナル必要アリマス、

ソレハ何デアルカト申シマスト、昨年六十

二議會ノ時局匡救ノ決議ニ於キマシテ、現

政府ハ兎ニモ角ニモ、此時局匡救ノ事業ニ

對シマシテ、努力致シマシタ、經濟界ガ不

況デ一般國民ガ生活ニ困ヅテ居ルト云フコ

トハ、獨リ内地バカリデハゴザイマセヌ、

植民地モ同様、内地以上ニ經濟界ノ影響ヲ

蒙ツテ苦シニ居ル、此時局匡救ノ事ガ決シマ

スルヤ、各植民地ニ於キマシテハ、内地以

上ニ時局匡救ニ關スル施設ガ行ハレルコト

ヲ、期待致シテ居タノデアリマス、然ルニ六

十三議會ニ於キマスル豫算、茲ニ昭和八年

度ノ豫算ヲ見マスルト、甚ダ是ハ期待ガ外

レマシタ、土木事業ナルモノハ、大體ニ於

テ内地ニハ行渡シテ居ル、植民地ハ建設事業

ヲヤリマスルカラ、不斷デモ土木事業ハ内

地ヨリ多イノガ常デアリマスルガ、此機會

ヲマダ日ガ淺イノデアリマスカラ、左様ニ

是ハ當然デアリマス、又此拓務省ニ對スル

モトハセレト云フコトハ、是亦當ヲ得テ居ル

非難ノ全部ヲ、現在ノ永井拓務大臣ニ責ヲ

負ハセレト云フコトハ、是亦當ヲ得テ居ル

モトハ思ハナイケレドモ、最近ノ此非難

ノ事ニ付キマシテハ、特ニ永井拓務大臣ハ

相當ノ關心ヲ御持チニナル必要アリマス、

ソレハ何デアルカト申シマスト、昨年六十

二議會ノ時局匡救ノ決議ニ於キマシテ、現

政府ハ兎ニモ角ニモ、此時局匡救ノ事業ニ

對シマシテ、努力致シマシタ、經濟界ガ不

況デ一般國民ガ生活ニ困ヅテ居ルト云フコ

トハ、獨リ内地バカリデハゴザイマセヌ、

植民地モ同様、内地以上ニ經濟界ノ影響ヲ

蒙ツテ苦シニ居ル、此時局匡救ノ事ガ決シマ

カ、承リタイノデアリマス

○永井國務大臣 拓務省ノ内容ニ付テ、沖

島君カラ色々御批判ガアリマシテ、私個人

ニ關スルコトハ十分ニ謹聽致シテ置キマス

ガ、拓務省關係ノ官吏ハ内地ニ居リマス者

モ、外地ニ居リマスル者モ、私ノ承知致シ

テ居リマス限リニ於テハ、能ク其責任ヲ重

ンジマシテ、非常ニ精勵シテ吳レテ居ルノ

デアリマス、出來ルダケ各自奉公ノ誠意ヲ

捧ゲタイト云フ精神デ居ルノデアリマスカラ

ラ、其點ハ十分御諒承ヲ得タイト思ヒマス、

拓務省關係ノ時局匡救ニ關スル事業ガ、特

ニ必要デアルト云フ御意見ハ、是ハ全ク私

モ同感ニ思ヒマス、拓務省ノ方デハ、此度

ノ時局ノ重要性ニ顧ミマシテ、大體ニ於キ

マシテ、一方デハ内地ト外地トヲ通ジマシ

テ、一つノ經濟單位トシテ、其處ニ產業ノ

勃興ヲ圖ルト云フ方針ヲ立て、ソレニ基

イテ各種ノ經營ヲ致スコトニシテ居ルノデ

アリマス、ソレカラ又時局匡救ヲ目的トス

ル土木事業ノ如キモノモ、是ハ財政上ノ關

係ニ於テ、許ス限り出來ルダケ努力致シテ

居ル積リデアリマス、現ニ今年度ノ豫算ニ

於テ御協賛ヲ願ヒマシタ分ダケデモ、若シ

御協賛ヲ願フコトガ出來マスレバ、朝鮮ニ

於テハ時局匡救ノ土木事業ニ依テ、約八百

萬人ノ延人員ガ、勞働ノ機會ヲ得ルコトニナルノデゴザイマス、又臺灣ノ方ハ約百六十萬ノ者ガ、勞働ノ機會ヲ與ヘラレ、樺太ニ於キマシテモ約八十萬ノ者ガ、勞働ノ機會ヲ與ヘラレルト云フコトニナルノデゴザイマシテ、此方面ニ於テハ沖島君ト私共同感デアリマシテ、出來ルダケ時局匡救ノ目的ニ副フヤウニシタイト、努力致シテ居ルノデゴザイマス、同時ニ又内地ニ於キマシテモ包擁スルコトガ出來ズ、外地ニ於テモ生活ノ出來ナイヤウナ者デ、已ムヲ得ズ外國ニ出テ行クト云フヤウナ者ニ對シマシテモ、大體ニ於キマシテ、第一ハ南米ニ移住ノ出來ルヤウニ努力致シマシテ、是ハ今年ハ船腹一杯デ、而モ船室モ改造サセテ、收容ノ出來ルダケ今日收容サセテ、南米ニ送ル計畫ヲ立て、居ルノデアリマス、又南米ノ方面ニ對シマシテモ、栽培業、ソレカラ漁業ト云フヤウナモノヲ中心ニシテ、出來ルダケ移民ヲ出スヤウニ努力致シテ居リマス、ソレカラ第三ハ、滿洲ノ方面ニ對シテ移民ヲ送ルト云フヤウニ、大體區劃ヲ三分割ニ分チマシテ、其方面ノ發展ニ付テ、努力致シテ居ルノデアリマシテ、沖島君ノ御話ノ時局匡救ノ目的ニ副ヒ、出來ルダケ生活ノ安定ヲ與ヘルト云フコトニ付テ、及

バズナガラ財政上ノ關係ヲ考慮シテ、其範圍内ニ於テ出來ルダケ努力致シテ居ル次第デアリマス
○沖島委員 樺太ノ拓殖ノコトニ付キマシテ、一言御聽キシタインデアリマス、樺太ハ廣袤二千三百方里、九州七縣程ノ大キサデアリマス、其富源、產業ト致シマシテハ森林、漁業、他ノ殖民地ニナイ特色ヲ持ッテ居ルノデアリマス、其他開拓スペキ富源ハ鑛業ニ、農業ニ、全土ニ大ナルモノガ横ツテ居ルノデアリマス、然ルニ領有以來漸ク三十年ニ垂々トシテ居リマスルガ、開拓ガ頗る遲々トシテ進マナイ、此多クノ原因ハ、要スルニ中央政府ガ樺太ノ拓殖ヲ甚ダ無視シ、閑却致シテ居ル、殆ド繼子扱デアルト云フコトガ、主タル原因因デアルト私ハ思フノデアリマス、殊ニ政府ノ拓殖ノ方針ト云フモノガ分ラナイ、毎年翌年度ノ豫算ヲ編成スル場合ニ、政府ノ方針トシテ三年後、五年後ハドウナルカト云フコトガ分リマセヌ、是ガ爲ニ從來政府ノ施設モ、民間ノ施設モ色々變更スル必要ヲ生ジ、行違ヲ生ジテ、大變ナ無駄ヲシテ居ル、ソレ故ニ樺太關係者ニ於キマシテハ、樺太ニ一定ノ拓殖計畫ヲ樹立シテ貰ヒタイト云フコトガ、多

バズナガラ財政上ノ關係ヲ考慮シテ、其範圍内ニ於テ出來ルダケ努力致シテ居ル次第デアリマス、是ニ付キマシテハ、私モ沖島君ト憂ヲ同ジシテ居ルノデアリマス、御話ノ通り領有以來約三十年ニ垂々ントシテ居ルノニ、人口モマダ僅カ三十萬位ヲ出ナイ、是ハ如何變更ヲ加フルコトハ已ムヲ得ナイ、多少不完全デアッテ、後カラソレノ模様替ヲ致ストト言ヒマシテモ、時勢ノ推移ニ依テ多少ノ要スルニ中央政府ガ樺太ノ拓殖ヲ甚ダ無視シ、閑却致シテ居ル、殆ド繼子扱デアルト云フコトガ、主タル原因因デアルト私ハ思フキタイト思ヒマス、昨年現在ノ今村長官ガ新任サレタ其理由ノ一ツシテ、ヨリ一層ノデアリマス、殊ニ政府ノ拓殖ノ方針ト云フモノガ分ラナイ、毎年翌年度ノ豫算ヲ編成スル必要ガアルト云フコトガ、長官更迭ノ理由ノヤウニ承テ居ル、成程今村長官ハ非マス樺太廳ノ者モ、拓務省ノ者モ、其方針ハ努力致シテ居ル次第デアリマス、樺太ニ居リマス、殊ニ御承知ノ通り樺太ノ產業ノ重要ナルモノハ、沖島君ガ今御話ニナリマシタ通り、林業竝ニ漁業デゴザイマスガ、此林業モ今日ハ年々「バルブ」ノ主材、及其他ノ用途ノ爲ニ伐採サレルモノガ、今日ノ所デハマダ調査ノ途中デアリマスカラ、正確ナ事ハ申上げ兼ネマスケレドモ大體ニ於テ利用シ得ル木材ノ「バルブ」主材ノ數量ノ如キモノ

バズナガラ財政上ノ關係ヲ考慮シテ、其範圍内ニ於テ出來ルダケ努力致シテ居ル次第デアリマス
○永井國務大臣 樺太ノ開發ノ遲々タルコトニ付キマシテハ、私モ沖島君ト憂ヲ同ジクシテ居ルノデアリマス、御話ノ通り領有以來約三十年ニ垂々ントシテ居ルノニ、人口モマダ僅カ三十萬位ヲ出ナイ、是ハ如何ニモ遺憾ナ事デアリマスガ、一方ニハ出來ルダケ樺太ノ產業ヲ獎勵シ、他方ニ於テハ其產業ノ勃興ニ伴フテ、内地カラノ移住者モ増加サセ、隨テ財政ノ獨立ノ出來ルヤウナ時期ヲ促進シタイト云フ考デ、出來ルダケ努力致シテ居ル次第デアリマス、樺太ニ居リマス樺太廳ノ者モ、拓務省ノ者モ、其方針ハ一つデアッテ、全力ヲ盡シテ居ル次第デアリマス、殊ニ御承知ノ通り樺太ノ產業ノ重要ナルモノハ、沖島君ガ今御話ニナリマシタ通り、林業竝ニ漁業デゴザイマスガ、此林業モ今日ハ年々「バルブ」ノ主材、及其他ノ用途ノ爲ニ伐採サレルモノガ、今日ノ所デハマダ調査ノ途中デアリマスカラ、正確ナ事ハ申上げ兼ネマスケレドモ大體ニ於テ利用シ得ル木材ノ「バルブ」主材ノ數量ノ如キモノ

モ、餘程減少シテ參リマシタ、ソコデ此森林ヲ出來ルダケ保護致シマシテ、林政ノ改革ヲスルト云フコトガ、一方ニ於テハ樺太ノ從來ノ產業ヲ維持スル上カラ、又他方ニ於テ樺太ノ重要ナル財源トナツテ居ル、其財源ヲ出來ルダケ培養シテ行クト云フ上カラ、是ガ差當ツテノ急務ノ一ツト考ヘマシテ、是ハ今村長官ガ樺太ニ參リマシテカラ、色々改革ニ對シテハ心配ヲシテ吳レマシテ、ソレニ關シテ又御協贊ヲ願ツテ居ルモノモ、少グナイノデゴザイマス、漁業ハ沖島君ノ御心配ノ通り、是モ大切ナ產業デアリマス、隨分從來重大ナ負債ノ爲ニ苦シメラレテ居リマシタガ、今回簡易保險局カラ三百五十五圓ノ低利資金ノ融通ヲ仰ギマシテ、之ヲ基礎ニシテ、彼等ノ更生ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第アリマス、併シ更ニ其上ニ樺太全島ニ瓦ル產業ノ大計畫ヲ樹テナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ沖島君ト私等ハ全然同感デス、森林ノ如キモ兎ニ角保護シマシテモ、殘餘ハ僅シカアリマセヌカラ、出來ルダケ是ハ一方ニ於テ伐採ノ如キモノモ少クシナケレバナラヌ、少クスレバソレダケ財政ノ收入モ減ツテ來マスカラ、他ニ產ナケレバナリマセズ、樺太ニ多數ノ内地人

ガ入ッテ行ッテ生活スル爲ニモ、產業方起ラ
ナケレバナリマセヌノデ、產業ノ獎勵ニ對
スル大計畫ヲ樹テルト云フコトハ、是ハ根
本的ニ必要ナ事ガアルト思ウテ居リマス、
其點ニ付キマシテ政府ハ色々ナ計畫ヲ樹テ
計畫ガ、色々參考材料トシテ提出サレテ居
リマス、内地人ハ樺太ハ隨分寒イト云フ印
象ヲ有ッテ居ッテ、容易ニ資源ノ開發ナドハ
出來ヌヤウニ、誤解シテ居ル者モ少クアリ
マセヌケレドモ、樺太ハ資源ノ埋藏サレテ
居ル點カラ考ヘマシテモ、又氣候ナドノ點
カラ考ヘマシテモ、歐羅巴ノ北部ニ在ル國
國ト比べテ、決シテ遜色ハナイト思ヒマス、
之ニ科學的ノ產業計畫ヲ確立シテ、樺太ノ
富ヲ增進スルコトハ、私共ハ決シテ不可能
デナインミナラズ、前途ハ有望デアルト云
フヤウニ考テ居ルノデアリマス、水產業ノ
如キモノモ、是カラ水產製造業ヲモ併せ行
ヒマシテ、出來ルダケ科學的ニ經營スレバ、
マダマダノ收獲ヲ増スコトガ出來ルト思ヒマ
ス、又農產物ニ對シマシテモ、之ニ加工シ
テ、又之ヲ獎勵シテ將來重要ナル工業ヲ起
ス餘地ガアルヤウニ思ハレマス、又礦業、
礦物ニ對シマシテモ、現在モ石炭ノ液化計
畫トカ、色々調査ヲヤッテ居リマスガ、將來

是モ大キナ未來ヲ有ッテ居ルト思ヒマス、ソコデ是等ノ全般ニ瓦ツテ科學的ニ調査スル、サウシテ樺太ノ富源ノ大開發ヲヤルト云フコトガ、私ハ財政上カラ考ヘマシテモ、或ハ人口政策カラ考ヘマシテモ、又國民經濟ノ見地カラ致シマシテモ、大ナル意義ガアルト思ヒマシテ、ソレニ付キマシテ今樺太長官ノ協力ヲ得マシテ、種々調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、此度ノ豫算ノ中ニ、樺太ノ產業開發ノ目的デ、調査費ヲ計上シテ御協賛ヲ仰イデ居リマスノモ、其計畫ヲ樹テル基礎トシテ、是非トモ實現シタイト考ヘテ居ル次第アリマシテ、大體ニ於テ樺太ノ產業的將來ニ、全力ヲ盡サナケレバナラヌト云フ沖島君ノ御意見ハ、私共全然同感デアリマシテ、微力ナガラ拓務省ト樺太廳ト協力シテ、其方向ニ向ッテ努力ヲ致シテ居ル次第ゴザイマス

開發デゴザイマスガ、遞信省ノ方デハ、非常ニ雄基及日本海ノ航路ノ問題ニ付テ、御心配ニナツテ居リマスガ、朝鮮總督府モ從來近海航路ナドニ相當心配サレタガ、段々財政ノ困難ノ爲ニ、其金ヲ減ラサレタヤウニ承ブテ居ルノデアリマス、此一大幹線ハ直チニ北陸一般ノ連絡ニナル、サウシテ名古屋ヘ出テ行クト云フヤウナ關係デ、福井縣ニセヨ、石川縣、富山縣、新潟縣ナドハ非常ニ議會ガ濟ミマシタナラバ、當局ニ於キマシテハ更ニ一步進ンデ——又新京ト雄基トノ間ノ汽車ガ、軒テ連結シマスカラ、ソレト同時ニ近海航路ニ對スル所ノ一大努力ヲ爲シ、一大發展ノ途ヲ講ジテ貴ヒタイト思ヒマス、ソレデ遞信省ニ御願スル意味デナクシテ、朝鮮總督府カラ眺メラレテモ、特殊ノ努力ヲ捧ゲテ行クノガ意義ガアルモノデハナイカ、ソレヲ御願シテ置キタイノ方ヲ御尋シ、又哈爾賓ノ附近ノ三姓ノ方面ニ、拓務省カラ態來テ、富山縣、石川縣、福井縣、三縣ニ向ッテ、軍事屯田移民ノヤウナモノヲヤリタイカラト云フ交渉モアツタヤウニアリマス、此間モ私ハ琿春縣其他色々ノ事聞イテ居ル、サウ云フヤウナコトハ、モウ

一段熱心ニモット突キ進ンデ移住計畫ニ付テ、一大努力ヲ拂ッテ貰ヒタイコトガ一ツ、及其沿線ニ向ッテハ、モット熱心ニ開發ニ努力シテ貰ヒタイコト、是ハ此間私ハアナタニモ言ヒ、其他ノ人ニモ再三材料ヲ御註文申上ガマシタ所ガ、何モ材料ガナイ、滿鐵ニ本ガ一ツアルカラ、アナタノ好キナ所ヲ一應讀ンデ來レバ、ソレヲ書イテ「プリント」ニシテ出スト仰シヤッタガ、私ハ拓務省ノ嘱託ザヤナイ、ドウカ斯ウ云フコトハ、モウ少シ材料蒐集ト云フコトニ、拓務省デハ突キ進ンデ御勉強ナサッテ、移住其他向フノ方ニ行ク者ニ、出來ルダケノ材料ヲ與ヘテヤッテ戴キタイト思フ、吾々ノ富山縣ノ方ニ於キマシテモ、今回臨時縣會ニ於キマシテ決議ヲシテ、サウンシテ朝鮮及滿洲方面ニ行ク所ノ、色々ノ費用モ決議シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、材料ガ無クテ弱ッテ居ルノノ縣ナリ、團體ナリニ渡シテ貰ヒタイ、或ナッテ、サウシテ十分ナル資料ヲ一ツソレ等モ、北陸方面ハ、北海道、樺太、其他各方面へ行ッテ、移住ニ成功シテ居ルノデアリマシテ、滿洲方面ニ行ケバ、必ズ移住ハ成功スルト云フ深イ確信ヲ有ッテ、縣民ナドハ皆努力

シテ居リマスカラ、材料ト云フモノヲモウ少シ集メラレテ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトヲ、一般的ニ分ルヤウニ、一ツ御勉強アランコトヲ希望シテ置キマス債ノ中ニ、產金事業ニ關シテ補助金ガ相當ソレト最後ニモウ一ツ、今回ノ朝鮮ノ公債ノ中ニ、產金事業ニ關シテ補助金ガ相當出テ居リマスケレドモ、滿洲方面ニハ非常ニ砂金、其他色々ナ金ガアルヤウデアリマシテ、斯ウ云フヤウナモノハ、簡單ナル精鍊方法デハ採レナイ、ドウシテモ相當ノ精鍊場ガ必要デアルト云フコトヲ、最近聞イテ居ルノデアリマス、ソレハ矢張リ朝鮮ニ相當ノ精鍊場ヲ置イテオヤリニナッテ、サウシテ満洲方面マデモ一括シテ、此富源ガ開發サレルヤウニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、朝鮮デハ一千萬圓程採レルト云フノデアリマスガ、技術家ノ意見ヲ聽クト云フト、金ガ高クナッタガ、採金ノ量目ガソレ程多クナイ、精鍊場ハ限リガアッテ、貧鑛ヲ先ニシテ含蓄ノ多イ金鑛ハ後ニナル、貧鑛デアッテモ算盤ガ採レルノデアルカラ、結局採金ノ量目ト云フモノハ少イ、斯ウ云フヤウナ所ハ、モウ少シ當局ノ方ニ留意ヲサレタナラバ、密接ナ關係ヲ有ッテ居ルコトニナリマス、併幹線ハ二ツトモ、殊ニ高見君ノ御郷里ニハ、シ尙ホ一層北陸道全體ト、滿鮮トノ關係ヲ

シテ居リマスカラ、材料ト云フモノヲモウ少シ集メラレテ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトヲ、一般的ニ分ルヤウニ、一ツ御勉強アランコトヲ希望シテ置キマス債ノ中ニ、產金事業ニ關シテ補助金ガ相當ソレト最後ニモウ一ツ、今回ノ朝鮮ノ公債ノ中ニ、產金事業ニ關シテ補助金ガ相當出テ居リマスケレドモ、滿洲方面ニハ非常ニ砂金、其他色々ナ金ガアルヤウデアリマシテ、斯ウ云フヤウナモノハ、簡單ナル精鍊方法デハ採レナイ、ドウシテモ相當ノ精鍊場ガ必要デアルト云フコトヲ、最近聞イテ居ルノデアリマス、ソレハ矢張リ朝鮮ニ相當ノ精鍊場ヲ置イテオヤリニナッテ、サウシテ満洲方面マデモ一括シテ、此富源ガ開發サレルヤウニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、朝鮮デハ一千萬圓程採レルト云フノデアリマスガ、技術家ノ意見ヲ聽クト云フト、金ガ高クナッタガ、採金ノ量目ガソレ程多クナイ、精鍊場ハ限リガアッテ、貧鑛ヲ先ニシテ含蓄ノ多イ金鑛ハ後ニナル、貧鑛デアッテモ算盤ガ採レルノデアルカラ、結局採金ノ量目ト云フモノハ少イ、斯ウ云フヤウナ所ハ、モウ少シ當局ノ方ニ留意ヲサレタナラバ、密接ナ關係ヲ有ッテ居ルコトニナリマス、併幹線ハ二ツトモ、殊ニ高見君ノ御郷里ニハ、シ尙ホ一層北陸道全體ト、滿鮮トノ關係ヲ

シテ居リマスカラ、材料ト云フモノヲモウ少シ集メラレテ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナッテ居ルト云フコトヲ、一般的ニ分ルヤウニ、一ツ御勉強アランコトヲ希望シテ置キマス債ノ中ニ、產金事業ニ關シテ補助金ガ相當ソレト最後ニモウ一ツ、今回ノ朝鮮ノ公債ノ中ニ、產金事業ニ關シテ補助金ガ相當出テ居リマスケレドモ、滿洲方面ニハ非常ニ砂金、其他色々ナ金ガアルヤウデアリマシテ、斯ウ云フヤウナモノハ、簡單ナル精鍊方法デハ採レナイ、ドウシテモ相當ノ精鍊場ガ必要デアルト云フコトヲ、最近聞イテ居ルノデアリマス、ソレハ矢張リ朝鮮ニ相當ノ精鍊場ヲ置イテオヤリニナッテ、サウシテ満洲方面マデモ一括シテ、此富源ガ開發サレルヤウニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、朝鮮デハ一千萬圓程採レルト云フノデアリマスガ、技術家ノ意見ヲ聽クト云フト、金ガ高クナッタガ、採金ノ量目ガソレ程多クナイ、精鍊場ハ限リガアッテ、貧鑛ヲ先ニシテ含蓄ノ多イ金鑛ハ後ニナル、貧鑛デアッテモ算盤ガ採レルノデアルカラ、結局採金ノ量目ト云フモノハ少イ、斯ウ云フヤウナ所ハ、モウ少シ當局ノ方ニ留意ヲサレタナラバ、密接ナ關係ヲ有ッテ居ルコトニナリマス、併幹線ハ二ツトモ、殊ニ高見君ノ御郷里ニハ、シ尙ホ一層北陸道全體ト、滿鮮トノ關係ヲ

ルコトガ幾ラモアルト思フ、今日ノ時局上非常ニ重大ナルコトデアリマスカラ、今回テ居實行サレルニ當ッテ、非常ニ御勉強願之ヲ御勉強アランコトヲ希望シテ置キマス

ソレトモ、朝鮮ノ各地ニ敷設セラル、鐵道ノ沿線ノ開發ニ對シテモ、一層ノ至極同感デアリマス、ソレカラ高見君ノ御話ノヤウニ、北陸道ノ人ガ日本海ノ沿岸ニ絡フ、一層密接ナラシムル爲ニ、朝鮮總督

カラ聲明ヲ取ッテ置キタイ

○永井國務大臣 高見君ノ御質問ハ、三點アツタト思ヒマス、第一點ハ朝鮮ト、内地ノ精鍊方法デハ採レナイ、ドウシテモ相當ノ精鍊場ガ必要デアルト云フコトヲ、最近聞イテ居ルノデアリマス、ソレハ矢張リ朝鮮ニ相當ノ精鍊場ヲ置イテオヤリニナッテ、サウシテ満洲方面マデモ一括シテ、此富源ガ開發サレルヤウニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、朝鮮デハ一千萬圓程採レルト云フノデアリマスガ、技術家ノ意見ヲ聽クト云フト、金ガ高クナッタガ、採金ノ量目ガソレ程多クナイ、精鍊場ハ限リガアッテ、貧鑛ヲ先ニシテ含蓄ノ多イ金鑛ハ後ニナル、貧鑛デアッテモ算盤ガ採レルノデアルカラ、結局採金ノ量目ト云フモノハ少イ、斯ウ云フヤウナ所ハ、モウ少シ當局ノ方ニ留意ヲサレタナラバ、密接ナ關係ヲ有ッテ居ルコトニナリマス、併幹線ハ二ツトモ、殊ニ高見君ノ御郷里ニハ、シ尙ホ一層北陸道全體ト、滿鮮トノ關係ヲ

ルコトガ幾ラモアルト思フ、今日ノ時局上非常ニ重大ナルコトデアリマスカラ、今回テ居實行サレルニ當ッテ、非常ニ御勉強願之ヲ御勉強アランコトヲ希望シテ置キマス

ソレカラ第二ニ、滿洲ノ各地ニ敷設セラル、鐵道ノ沿線ノ開發ニ對シテモ、一層ノ至極同感デアリマス、ソレカラ高見君ノ御話ノヤウニ、北陸道ノ人ガ日本海ノ沿岸ニ絡フ、一層密接ナラシムル爲ニ、朝鮮總督

カラ聲明ヲ取ッテ置キタイ

○永井國務大臣 高見君ノ御質問ハ、三點アツタト思ヒマス、第一點ハ朝鮮ト、内地ノ精鍊方法デハ採レナイ、ドウシテモ相當ノ精鍊場ガ必要デアルト云フコトヲ、最近聞イテ居ルノデアリマス、ソレハ矢張リ朝鮮ニ相當ノ精鍊場ヲ置イテオヤリニナッテ、サウシテ満洲方面マデモ一括シテ、此富源ガ開發サレルヤウニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、朝鮮デハ一千萬圓程採レルト云フノデアリマスガ、技術家ノ意見ヲ聽クト云フト、金ガ高クナッタガ、採金ノ量目ガソレ程多クナイ、精鍊場ハ限リガアッテ、貧鑛ヲ先ニシテ含蓄ノ多イ金鑛ハ後ニナル、貧鑛デアッテモ算盤ガ採レルノデアルカラ、結局採金ノ量目ト云フモノハ少イ、斯ウ云フヤウナ所ハ、モウ少シ當局ノ方ニ留意ヲサレタナラバ、密接ナ關係ヲ有ッテ居ルコトニナリマス、併幹線ハ二ツトモ、殊ニ高見君ノ御郷里ニハ、シ尙ホ一層北陸道全體ト、滿鮮トノ關係ヲ

ルコトガ幾ラモアルト思フ、今日ノ時局上非常ニ重大ナルコトデアリマスカラ、今回テ居實行サレルニ當ッテ、非常ニ御勉強願之ヲ御勉強アランコトヲ希望シテ置キマス

ソレカラ第二ニ、滿洲ノ各地ニ敷設セラル、鐵道ノ沿線ノ開發ニ對シテモ、一層ノ至極同感デアリマス、ソレカラ高見君ノ御話ノヤウニ、北陸道ノ人ガ日本海ノ沿岸ニ絡フ、一層密接ナラシムル爲ニ、朝鮮總督

カラ聲明ヲ取ッテ置キタイ

○永井國務大臣 高見君ノ御質問ハ、三點アツタト思ヒマス、第一點ハ朝鮮ト、内地ノ精鍊方法デハ採レナイ、ドウシテモ相當ノ精鍊場ガ必要デアルト云フコトヲ、最近聞イテ居ルノデアリマス、ソレハ矢張リ朝鮮ニ相當ノ精鍊場ヲ置イテオヤリニナッテ、サウシテ満洲方面マデモ一括シテ、此富源ガ開發サレルヤウニ、御努力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、最近聞ク所ニ依レバ、朝鮮デハ一千萬圓程採レルト云フノデアリマスガ、技術家ノ意見ヲ聽クト云フト、金ガ高クナッタガ、採金ノ量目ガソレ程多クナイ、精鍊場ハ限リガアッテ、貧鑛ヲ先ニシテ含蓄ノ多イ金鑛ハ後ニナル、貧鑛デアッテモ算盤ガ採レルノデアルカラ、結局採金ノ量目ト云フモノハ少イ、斯ウ云フヤウナ所ハ、モウ少シ當局ノ方ニ留意ヲサレタナラバ、密接ナ關係ヲ有ッテ居ルコトニナリマス、併幹線ハ二ツトモ、殊ニ高見君ノ御郷里ニハ、シ尙ホ一層北陸道全體ト、滿鮮トノ關係ヲ

ルコトガ幾ラモアルト思フ、今日ノ時局上

在ノ如キ狀態デハ、貨物ノ輸送モ十分出來

ナイト思ヒマスカラ、益々航路ハ擴大サレナ

ケレバナラヌト思ヒマス

ルコトガ幾ラモアルト思フ、今日ノ時局上

在ノ如キ狀態デハ、貨物ノ輸送モ十分來自第六類第一號 造幣局工場及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案(政府提出)外二件委員會議錄 第十回 昭和八年二月二十日 九

カラ最近豫算ノ御協贊ヲ得マシテ、昨年
マダ進行中デゴザイマシテ、此調査ガ出來
上ツテ報告サレマスレバ、是ハ御覽ニ入レル
コトガ出來ルノデアリマス、サウシテ出來
ルダケ耕作ニ適スル土地ヲ得テ、出來ルダ
ケ多數ノ移民ヲ送ルコトハ、無論贊成デア
リマス、唯先日モドナタカラカ御話ガアリ
マシタヤウニ、從來ノ支那人ト同ジヤウナ
耕作方法ヲヤッテ居レバ、生活程度ガ違ヒマ
スカラ、競爭ハ出來ナイノデ、滿洲ニ入ッテ
行ク農民ハ、矢張特別ニ支那ノ農民ガ持ッテ
居ナイヤウナ、特殊ノ機械ヲ使ハナケレバ
ナラヌ、農具ノ供給モ致シ、ソレカラ耕作
スル持地ノ如キモ、出來ルダケ廣クスルコ
トガ必要デ、出來ルダケ大規模ノ土地ヲ得
マシテ、サウシテソレニ農業ニ必要ナル機
械モ供給シ、サウシテ大農制度デ之ヲ開墾
シナケレバナラヌト云フコトヲ方針トシテ
居リマス、相當廣イ土地モ要ルノデアリマ
スガ、今日マダ匪賊ガ中々盛デアリマシテ、自
只今大多數ノ移民ヲヤルコトニハ、大分苦
痛ヲ感ジマス、ソレハ先づ鐵砲ヲ持タシ、自
衛移民トシテ出シマシテモ、今申上ゲタヤ

支那デ農業ヲヤッテ、サウシテ其結果、豫期ノ通リノ成果ヲ收メルカドウカト云フコトハ、是ハ一應試験ヲシテカラヤラナイト、若シ行ッタ者ニ迷惑ヲ掛ケテハ甚ダ相濟マナイノデ、ソレデ今日ハ一千名ノ自衛移民ヲ出シテ、其試験ヲシテ、是ガ成功シタラ大規模ニヤリタイト云フヤウナ考デアリマス、今募集シテ送ッテ居ルノハ、第一回ノ一千名ノ試験移民ニナル譯デアリマス、併シ之ヲ出來ルダケ多數ニ送ルト云フコトハ、十分努力致シタイト思ヒマズ
ソレカラ第三ニ産金獎勵ニ對シテノ御意見モ、吾々ハ同感デアリマシテ、朝鮮ノ方ハ是ハ高見君ノ御話ニナッタコトハドウ云フ意味カ、私ハ逆デナイカト思フデス、鑛石ノ金ヲ多ク含蓄シテ居ルモノヲ、精鍊所ニ持ッテ行ッテ精鍊サレテ居ル、貧鑛ハ途中運搬スル運賃モ償ハヌト云フノデ、大抵捨テラレテ居ルガ、其貧鑛ト雖モ金ヲ含蓄シテ居ルモノハ、出來ルダケ精鍊所ニ送リタ云フコトニ致シテ、是ハ今度御協贊ヲ願フニ致シタノデアリマス、ソレデ昨年カラ計畫云トニナッテ居リマス、ソレデ今年カラ計畫致シマシタ產金獎勵ノ經費ハ、今年度ノ豫

金奨勵ノ爲ニ、朝鮮デハ約三十一萬圓ヅ
ツ支出スルコトニナッテ居リマシテ、相當努
力ヲシテ居ル積リデアリマス、ソレカラ満
洲ハ御承知ノ通り、非常ニ金ガ多イト云フ
學者ノ報告ガアリマスノデ、是ハ滿鐵自身
ガ其金ノ調査ニ當ッテ、其調査ノ結果ニ基イ
テ、良ケレバ大規模ニ採金ヲヤルト云フノ
デ、約五十萬圓程ノ資本ヲ掛ケマシテ、満
鐵自身ガ満洲ニ於ケル金ノ調査ニ當ルコト
ニナッテ居リマス、此點ニ付テモ出來ルダケ
努力ヲ致シテ居ル積リデアリマス

○沖島委員 樺太拓殖計畫ノ必要ハ、吾々
同様ニ拓務大臣モ御認ニナッテ居ラレマス、
是ノ具體案ヲ來年ノ議會ニ提案スルヤウ
ニ、御準備ヲナサル御決心ガアリマスカ、
ソレカラ序ニ承ッテ置キタイノデアリマス
ガ、樺太ノ選舉法ノコトデアリマス、樺太
ニ衆議院議員選舉法ヲ施行シテ貰ヒタイト
云フコトハ、既ニ衆議院ニ四回法律案トシ
テ提案サレマシタ、一回ハ審議未了トナリ
マシタガ、三回通過ヲ致シテ居リマス、併
シ貴族院デ審議未了ニナリマシタ、ソレカ
ラ昨年現内閣ノ下ニ立案セラレタモノガ、
法制審議會ニ於テモ認メテ居ラレマス、斯

タヤウデアリマス、今度コソハ私ハ樺太ノ選舉法ト云フモノハ、實現スルデアラウト向左様ナ模様ガ見エマセヌ、樺太ハ内地同様デアル、唯富源ガ澤山アッテ、開拓スベキ土地ガ澤山アルト云フダケノ違デアリマス、ソコデ内務省ノ管轄ニナレバ是ハ問題ハナイ、拓務省管轄デアルカラト云フノデアリマスガ、他ノ植民地ニ較ベマシテ、兵役ノ義務トカ、納稅ノ關係、或ハ陪審法ノ如キ、全然違フノデアリマス、永井拓務大臣ハ、是ハ申スマデモナク政黨政治家、我等ノ民衆政治家ノ先輩ト致シマシテ、他ノコトハ暫クアナタニ期待シナイトシマシテモ、此選舉法施行ノコトハ、眞先キニアナタニヤッテ戴キタイト思ヒマス、兎角民衆ノ權限ノ擴張ト云フコトニ付テハ、官僚ト云フモノハ出客ミヲスルモノデアリマス、成ベク多ク與ヘマイトルモノデアリマス、斯ウ云フヤウナ官僚思想ニ依ツテ、臣民ノ權利ヲ阻止サレテ居リマスカラ、之ニ對シテハ眞向カラ、永井拓務大臣ノ御力ニ依ツテ之ヲ排除シテ、一日モ早ク實現スルヤウニ御盡力願ヒタイト思ヒマス、之ヲ私ハ永井拓務大臣ニ期待ヲ致シテ居リマス、之ニ付テハ

ドウ云フ御考デアリマスカ

○永井國務大臣 権太ノ拓殖計畫ハ、私自

身モ出來ルダケ明年度ニハ提出シタイト云

フ考デ、今準備調査ヲサセテ居ル次第デア

リマス、権太ニ内地ト同様ノ地方自治、又

帝國議會ニ代表者ヲ送ル權利ヲ擴大スルコ

トニ付キマシテハ、既ニ衆議院ニ於テモ、

沖島君ノ御話ノ通り議決セラレテ居リマ

ス、私共モ出來ルダケ早ク實現シタイト思

ヒマスルガ、只今御話ノ通り財政上、又他ノ

外地トノ關係上研究スペキモノガアリマス

ノデ、今期議會ニ於テソレヲ提出シテ、御

同意ヲ求メルト云フ所マデハ進ミ兼ネテ居

リマスガ、其方針デ今調査ヲ進メテ居ル次

第デアリマス

○小山委員 關聯シテ簡單ニ——今拓務大

臣ノ御話ノ、滿洲移民政策ノコトデアリマ

スガ、之ニ關聯シマシテ御考ヲ承テ置キタ

イト思フノハ、日本ノ亞米利加ニ行クテ居

ル、所謂日本ノ同胞ノ農業移民デアリマス、

亞米利加ガ非常ニ不景氣ノ爲ニ、私ノ知ッテ

居ル友人モ數組滿洲ニ入ッテ居ルノデアリ

マス、亞米利加ニ居ッテモ、亞米利加ガ今日

不景氣ノ爲ニ、到底彼等ハ將來見込ガ立タ

ナイ、ソコデ滿洲ニ移住シタイト云フ希望

ニ燃ヘテ居ルト云フコトヲ、私共ハ承知シ

テ居ル、政府ハ相當ノ道案内ヲシテ、斯ウ

云フヤウナ亞米利加ニ移住シテ、農業ニ成

功シタ經驗ヲ有ッタ、而シテ金錢的ノ援助ヲ

ヤラナイデモ、先驅トシテ行クコトガ出來

ル是等ノ人ヲ導イテ、滿洲ニ送ルト云フコ

トニ付テ、何カ御調ニナッタコトガアルカ、

或ハ御考ニナッタコトガアリマスカ、此點ヲ

御尋シタイ、若シ御調ガナカッタナラバ、至

急ニ之ヲ御調ニナッテ、サウ云フ方法ヲ御採

リニナルノハ、洵ニ適切ナル時代ノ要求デ

アラウト思フノデアリマス

ソレカラ今一點、滿鐵ニ金鑛ノ事ヲヤラ

セルト云フヤウナ意味ノ御話デアリマシタ

ガ、今滿鐵ノ大增資ノ方針ガ、大體決定シ

タト云フコトデアリマスガ、滿洲ノ事業ヲ

總テ滿鐵中心ニヤラセルト云フコトハ、決

シテ滿洲ヲ開發スル所以デハナイ、滿鐵ハ

滿鐵本來ノ任務デアル、寧口鐵道其他ノ交

通運輸ノコトニノミ限ル、例ヘバ炭礦ヲ掘

リタイト云フヤウナ場合、滿鐵ガアノ大キ

ナ山ヲ自分で持ツテ、他ノ人ガ傍ヲ掘ルト、

自分ノ仕事ノ邪魔ニナルカラ、他ノ者ガ掘

レナイヤウニスル、掘ッテモ所謂滿鐵關係ノ

運賃其他デ、其人ノ商賣ガ成立タナイヤウ

ニ仕向ケルト云フヤウナ現狀デアリマス、

ルト云フコトハ、滿洲ヲ開發スル所以デハ

ナイト思ヒマスガ、此點ニ付テモ拓務大臣

ハ、ドウ云フヤウニ考ヘテ居ラレマスカ、

是ハ簡単ニ御意見ダケ伺ッテ置キマス

○永井國務大臣 米國デ農業ニ成功シタ經

驗ノ有ル日本移民ヲ、滿洲方面ニ於テ開墾

ニ從事サセル機會ヲ與ヘルト云フコトハ、

是ハ今サウ云フ機會ヲ與ヘルコトガ出來ル

カドウカハ分リマセヌガ、米國デ農業ニ成

功シタ移民ノ中、少數ノ者ガ現ニ滿洲ニ來

テ成功シテ居ルコトハ、私自身モ滿洲ニ行

キマシテ、其ヤリ方ヲ目撃シテ、農業ニ從事

シテ居ル其方法ハ、非常ニ滿洲デ役ニ立ツ

ト思ッテ居リマス、ソレデ、今政府ガヤッテ

居リマス自衛移民モ、米國デ經驗シタル人

ノ知識ヲ出來ルダケ利用シ、ソレカラ又其

米國ニ於ケル、日本移民ノ農業ノ方法ヲ參

考トシテ、今度ハ立案シテ居ル次第デアリ

マシテ、今御話ノコトハ非常ニ滿洲ノ開發

上、政府トシテモ必要ナコトデアルト考ヘ

テ居リマス

ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、此際滿洲ニ於

ケル匪賊ノ危險ノナイヤウナ土地ニ於テ、

能ク軍部ト協調シツ、適當ナ機會ヲ發見シ

テ、調査ヲ進メテ行クト云フコトハ、向フ

ニ出テ居ル機關ガ之ヲ爲スト云フコトガ非

常ニ便利デアルト思フ、其調査ヲ滿鐵ニヤ

ラス次第デアリマス

○小山委員 今拓務大臣ハ金ノコトヲ御話

ニナリマシタガ、私ハ金ノコトバカリ言フ

ノデハアリマセヌ、滿洲ノ開發ハ滿鐵ヲシ

テ事業方面ニ、無暗ニ手ヲ出サセルト云フ

コトハ、決シテ滿洲ヲ開發スル所以デハナ

イ、國民ノ自由進出ヲ阻害スルモノハ滿鐵

ナリト、斯様ニ私ハ考ヘル、拓務大臣ハ過

日、滿御ニ疏安工業ヲヤラセルト云フコト

ヲ、大分御自慢ノヤウニ御話ニナッテ居ル

ノデアリマス、是等ト雖モ疏安其モノハ宜

イカモ知ラヌケレドモ、滿洲ヲ開發スルト

云フ大キナ使命カラ見タナラバ滿鐵ハ妨害

スモノデアッテ、決シテ國民ノ進出ヲ促

ス所以デハナイト私ハ考ヘル、石炭ニ致シ

マシテモ、其他ノ事業ニ致シマシテモ、徒

ニ滿鐵ヲシテ、本來ノ使命タル交通運輸ノ

事業カラ離レテ、手ヲ出スト云フコトハ宜

シクナイト思フガ、其點ハ如何デアルカト

云フコトヲ御尋シタノデアリマス

ソレカラ第一點ハ、先程亞米利加ノ農業ハ大イニ参考ニナルト云フコトヲ、拓務大臣ハ十分ニ御認ニナッテ居ルヤウデアリマス、私ノ御尋シタノハ、現ニ亞米利加ニ居住シテ居ル多數ノ同胞ハ、亞米利加ノ不景氣ノ爲ニ惱ミ抜イテ居ル、何トカシテ展開シタイト云フ空氣ガ濃厚デアル、其内ノ數組ノ人ハ私ノ世話デ満洲ニ入レテヤッタコトモアルガ故ニ、現ニ亞米利加ニ居住シテ居ル彼等ヲ、此處ニ導イテ行クト云フコトニ付テ、何カ御調ニナッタコトガアルヤ否ヤ、ナイナラバサウ云フヤウナ方法ヲ御採リニナッタナラバ如何デアリマセウカト云フ點ヲ、御伺シタノデアリマス。

○永井國務大臣 米國ニ現在移住シテ居テ、不況ニ惱ンデ居ル者ガ少クナイト云フコトハ、之ハ同情ニ堪ヘナイ所デアリマス、併ナガラ折角彼方ニ出テ行ツタ移民ハ、矢張出來ルダケ政府ガ金融其他ノ方法ヲ講ジテ、援ケラレル者ハ援ケテ、米國デ得タ地位ハ維持サセタイト思ヒマス、南米其他デモ同ジヤウナ不況ニ居ル者ハ、矢張政府ガ出来ルダケ援ケテ居ルノデアリマス、併ナガラ已ムヲ得ザル事情ガアッテ、現ニ米國ヲ捨テ、内地ニ歸リ、満洲ニ行キタイト云フ者ガアレバ、サウ云フ人々ノ経験ヲ十分活

カスベキ機會ハ、政府トシテ與ヘタイト思ヒマス

ソレカラ滿洲ニ於ケル產業ヲ、満鐵ト力或ハ大資本家ガ壟斷スルト云フコトナラバ、是ハ固ヨリ反對デアリマスケレドモ、斯カラ、國防上或ハ其產業ノ性質上、最初防ヲ負擔スルコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、ホンノ三分御質問申シタイト今日、日本ハ滿洲國ト共同責任ヲ以テ、國スカラ、國防上或ハ其產業ノ性質上、最初防ヲ負擔スルコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、ホンノ三分御質問申シタイト

○高見委員 滉サンガ御出席ニナッテ居リ

マスカラ、ホンノ三分御質問申シタイト

思ヒマス、今回ノ追加豫算ノ中、外務省ノ

所管デ國際聯盟ノ費用ガ、二十六萬四千餘

ハ收益ガアルトカ、又實驗的ニ早ク始メナ

トニ付テ、何カ御調ニナッタコトガアルヤ

否ヤ、ナイナラバサウ云フヤウナ方法ヲ御

採リニナッタナラバ如何デアリマセウカト

云フ點ヲ、御伺シタノデアリマス

ハ收益ヲ舉ゲル見込ハナイケレドモ、將來

ハ收益ガアルトカ、又實驗的ニ早ク始メナ

トニ付テ、何カ御調ニナッタコトガアルヤ

否ヤ、ナイナラバサウ云フヤウナ方法ヲ御

採リニナッタナラバ如何デアリマセウ

昭和八年二月二十日印刷

昭和八年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所